

年間指導計画を立案する際の参考資料

中学校 第1学年 「美術（日本文教出版）」

32時間（70%）

週	領域	題材名	題材の目標	時間数	留意点	
1	B鑑賞 (1)ア	私が見つけた物語	造形的なよさや美しさ、描かれている情景に込められた作者の意図や工夫などを感じ取り味わう。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動との関連を意識する。 ・作者の心情や意図について話し合う時間を設定する。 	
		1時間 ----- 花の生命	花の描き方のよさや美しさ、作者の意図と構図、色彩などの表現の工夫などを感じ取り味わう。	1		
2 ~ 4	A表現 (1)ア	なぜか気になる情景	生活の中で心がひかれた情景から表したい主題を明確にし、構図や表現方法などを工夫して絵で表現する。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 	
	B鑑賞 (1)ア	心に残ったできごと	生活の中での体験などを基に感じたことや考えたこと、心に残ったできごとなどから主題を生み出し、構図や材料、用具を工夫して絵や立体で表現する。	6		
	【選択】			6時間	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
				6時間	家庭	
5	B鑑賞 (1)ア	デザインの扉を開こう	伝える、使うなどの目的や機能と美しさの調和、作者の心づかい、生活の中のデザインの働きなどについて理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。 	
	(1)イ 【選択】	伝統の中の動物たち	日本やアジアの祭りに見られる動物の造形的な特徴やイメージの違いを感じ取るとともに、住んでいる地域の美術の伝統文化への関心を高める。	1		
6 ~ 8	A表現 (1)イ	一枚の紙から広がる世界	目的や条件を基に、紙の加工方法や美しい構成を考え、材料や用具などを工夫してデザインする。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。 	
	B鑑賞 (1)ア	私の気持ちをカードに込めて	伝えたい気持ちや内容が伝わるように、飛び出す仕組みを生かした構成を考え、材料や用具などを工夫してカードをデザインする。	6		
	【選択】			6時間	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・加工が容易な紙などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。
				6時間	家庭	
9 ~ 11	A表現 (1)ア	刷って出会う美しさ	表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・制作する作品の大きさや材料を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 	
	B鑑賞 (1)ア	身近な人を見つめて	身近な人の特徴や性格、雰囲気、気持ちなどから主題を生み出し、表情やポーズなどを考え、材料や用具を工夫して絵や立体で表現する。	6		
	【選択】			6時間	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
				6時間	家庭	
12 ~ 14	A表現 (1)イ	使いたくなる焼き物をつくらう	土がもつ素材のよさを生かし、用途や機能と美しさなどを考え、土の生かし方や用具などを工夫して焼き物をつくる。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。 	
	B鑑賞 (1)ア	暮らしに息づく木の命	木肌のもつ温かさや優しい感触を生かし、用途や機能と美しさなどを考え、木の生かし方や用具などを工夫してデザインする。	6		
	【選択】			6時間	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。また、ヤスリがけは必要に応じて家庭でも行う。
				6時間	家庭	

15 ～ 17	A表現 (1)ア (2)ア	身近なものを立体で表そう 6時間	自然物や身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴などから主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。	6	速乾性の加工粘土等を使い、乾燥時間の短縮を図る。
	B鑑賞 (1)ア 【選択】	材料と対話して 6時間	身近な木や石、日用品の形や色彩、質感などの特徴から生き物のイメージなどを発想し、組み合わせ方や材料、用具を工夫して立体で表現する。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
18 ～ 21	A表現 (1)イ (2)ア	美しい構成と装飾 6時間	目的や条件などを基に、身近なものの形や色彩の美しさなどをとらえて構成や装飾を考え、着色などを工夫してデザインする。	6	・制作する作品の大きさを材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
	B鑑賞 (1)ア 【選択】	楽しく伝える文字のデザイン 6時間	イメージや伝えたい内容が相手にわかりやすく印象に残るよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	6	・制作する作品の大きさを材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。
		記憶に残るジグザグマーク 6時間	伝えたい内容を基に象徴するものや形や色彩の効果を考え、材料や用具などを工夫してマークをデザインする。	6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
				6	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、A表現（1）ア（2）アを扱う題材として、「なぜか気になる情景」「刷って出会う美しさ」「身近な人を見つめて」「心に残ったできごと」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、制作時間の短縮を図る。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、生徒が表現技法を選択して制作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（制作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞することが考えられる。友達の商品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○鑑賞の題材を表現の題材の導入等で扱うなど、表現と鑑賞の関連を意識し複合的に行う。

○資料収集やアイデアスケッチ、配色計画など、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して生徒に返す。